

日野川の源流と流域を守る会

会 報

ひのがわ

—第27号—

＝ 目 次 ＝

- 境港水産体験学習交流会 2
- 日野川一斉清掃・堰見学・生き物調べ 3～4
日野川の自然環境と希少生物を守る体験学習会
板井原川河川清掃
- 海岸クリーン作戦及び日野川河口・海岸植物学習会 5
- 森と水に親しむ活動支援事業 6
- 幹事会の再開 7
- これからのイベント、会員募集 8

活動
レポート

境港水産体験学習交流会

H27.6.13

場所：境港市



▲参加者記念撮影（海とくらしの資料館）

境港で海と山のつながりを学んで交流！

海の恵みの豊かさを実感し、海と山のつながりを学ぶために、漁港や魚の水揚げ等を見学、地元境港の方と交流し、絆を深め、山と海の間をつなぐの歴史であり、境港の発展のもととなった「たたら」の歴史・文化についても学習しました。

午前中は、境漁港で当日あいにく水揚げがなかったため、境港水産振興会のおさかなガイドによる漁港・水揚の説明や、市場の見学を行いました。

昼は、市内の公民館で中海の海藻を使って栽培された奥日野米のおにぎりやジャココロッケなど山と海の食材を味わい、楽しい昼食交流をしました。

午後からは、海とくらしの資料館、たたら積み出し港として発展した境港の歴史を、伯耆国たたら顕彰会による電子紙芝居により学び、大人も子供も釘付けでした。

今回は午前10時から午後3時30分までという比較的長めの学習会でしたが、日野川の恩恵を受けている境漁港や、上流域(山)と下流域(海)のつながりの歴史である「たたら」の歴史、文化について学習することができとても好評でした。



▲漁港見学



▲海とくらしの資料館での伯耆国たたら顕彰会によるたたら紙芝居

▲公民館での昼食
地元の食材をふんだんに使用

▲海とくらしの資料館見学

▲境港水産振興会のおさかなガイドによる説明
参加者の方はとても熱心に聞かれていました

活動
レポート

日野川一斉清掃 日野川堰見学 生き物調べ



▲日野川河川事務所
所長あいさつ

H27.7.5

場所：米子市古豊千

エイエイオー



もっともっときれいな日野川を目指して!!

「日野川一斉清掃(事務局：国土交通省日野川河川事務所)」に、今年も参加しました。一斉清掃全体では、ゴミの総量は4トトラック2台分もあったようで、今後も一層ふるさとの貴重な財産である日野川の景観や環境を守る活動の必要性に思いをはせられました。

清掃活動のあとは、日野川河川事務所から、日野川堰の役割を説明していただいたり、日野川の浅瀬に入って、日野川の生き物調べやその種類によって水質評価ができることなどを学びました。子どもたちよりも年配の方が夢中になっておられたような…。スジエビから絶滅危惧種まで沢山の生き物が見つかり、当日の調査では、日野川下流の水質は、「ややきれい」との評価が得られました。もっともっときれいな日野川を目指したいと思います。



▲生き物調べ



▲堰見学 (モニター室)

活動
レポート

日野川の自然環境と 希少生物を守る体験学習



場所：日野郡日野町



オオサンショウウオ生態調査で日野高校生徒が活躍！ H27.7.9

日野川支流の河川生物調査学習として高校生を対象としたオオサンショウウオの生態調査を実施しました。この活動は今年で2回目です。NPO法人日本ハンザキ研究所 岡田純副理事長の指導のもと、日野高等学校アグリライフ系列の1年生16人が調査に参加しました。この貴重な体験を通して美しい日野川を守り引き継いでいく自然環境への意識が高まりました。



▲オオサンショウウオが住む川にどのような水生生物がいるかもあわせて調査。



▲昨年と同じ川を比較調査し、2匹のオオサンショウウオ捕獲。(2匹中1匹は新規個体) 初めてオオサンショウウオを見た高校生がほとんどで、興味深そうに計測補助作業を行っていました。(注：オオサンショウウオは特別天然記念物ですので、許可がないと捕獲移動できません。) 計測後に行った講義では、「寿命はどれくらいか?」「どんな所を好んで住んでいるのか?」など、興味津々の質問が上げられていました。

オオサンショウウオの講義と小学生の自然観察！

H27.7.31

日野町の小学生を対象として、日野川支流の河川自然観察学習とオオサンショウウオの講義をしました。こちらも今年で2回目。子供達は活動を通じて生物の多様性や日野川の現状を学び、体験することで自然環境への関心が高まったようです。日野高等学校生徒もボランティアとして参加しました。



▲午後、日野川支流で河川生物の観察とオオサンショウウオ3匹捕獲し、生態調査を行いました。初めて見るオオサンショウウオに子供達は大喜びでした！



◀岡田純講師がクイズを交えながら楽しく講義。オオサンショウウオや河川生物、河川環境の状況とそれらを守るために私達ができること、オオサンショウウオが身近にいる日野川の大切さを教えていただきました。小学生は興味津々で積極的に質問！その後、オオサンショウウオの絵を描いてより親しみを深めました。

活動
レポート

板井原川河川清掃

H27.7.30

場所：日野郡日野町



感謝の気持ちをこめて板井原川をきれいに！



7月の河川愛護月間にちなみ、日野川の支流の板井原川にて鳥取県西部総合事務所日野振興センター県土整備局主催の河川清掃が毎年開催されていますが、日野川の源流と流域を守る会が初めて参加しました。

◀日ごろの河川への感謝の気持ちをこめて、夏の日差しが弱まった夕方に約100名が集まり、板井原川の河原の草取りとゴミ拾いを行いました。子供達も川遊びをする地元に愛されている川だけに、きれいにし甲斐があるというもの。汗だくで取り組み、終わるころに聞こえたカジカガエルの涼しげな鳴き声が、まるで御礼を言ってくれているかのようでした。

活動
レポート

海岸クリーン作戦 日野川河口・海岸植物学習会

H27.8.29 場所：日吉津海岸



▲石村長あいさつ



海岸を綺麗にしたあと、普段気がつかない海岸植物を知りました。

8月29日(土)に開催された「日吉津海岸クリーン作戦」に参加。日野川の源流と流域を守る会もこれに参加し、初めての試みとして、清掃活動のあと海岸植物の学習会をしました。

海岸植物の観察会では、鳥取県西部希少野生植物保全調査研究会の藤原文子さんを講師に、ウンラン、ハマゴウなどの河口近くの海岸に自生する多種多様な植物約20種類を実際に見つけ解説をしてもらい、参加者も熱心に質問をしたり、昔の日吉津海岸の状況などを説明しあう等有意義な観察会になりました。また、もう少し河川植物の解説が聞きたい等の要望もあり、次回以降の企画の参考になる意見もいただきました。



▲ウンラン



▲学習風景



▲ハマゴウ

森と水に親しむ活動を支援

日野川流域の河川や森、水等の自然環境や歴史文化等について、将来を担う子どもたちなどに、川や自然とのふれあい体験を通して日野川への理解を深めていただく活動などに支援をさせていただきました。これからも日野川流域の森や水に親しむ活動を活発にしましょう。

米子市水道局日野川源流探訪

H27.6.27 場所：日野郡日南町新屋



日野川や森林環境保存等の大切さを学ぶ。

平成27年6月27日(日)、日南町新屋で開催された「日野川源流探訪及び米子市水源かん涵養林見学」(主催：米子市水道局)に支援しました。

米子市水道局は前年の日野川の源流と流域を守る会主催の「日野川源流探訪」で探訪を学び、自ら日野川源流探訪を企画されました。参加者は36人(うち中学生以下3人)と大盛況で、参加者からは「日野川に対する保全活動の意識が高まった、水源かん養林の見学を通じて、米子市水道局の保全の取組が理解できた」など大変有意義な活動であったとの感想が寄せられていました。

ちなみにガイドは奥大山自然歴史館 矢田貝館長でした。

第49回全国ホタル研究会鳥取県よなご大会江府町分科会



ほたるの鑑賞 H27.6.12・13

観察会 H27.7.2・3 場所：日野郡江府町

ホタルを通じて地域の環境と自然との共存の学習！

平成27年6月12・13日のせせらぎ公園保育園親子観察会、7月2・3日の江府町学校4年生によるヒメボタル観察と生態調査(主催：第49回全国ホタル研究会鳥取県よなご大会江府町分科会)に支援しました。

保育園親子会では園児対象にホタルと環境学習をし、一切ライトを使用せず親子が手をつないで移動観察体験するなど親子のつながりと人は自然とともに共存していることを体感、小学生にホタルを通じて地域の環境と自然との共存の学習をされました。



幹事会を再開

平成22年から中断していた幹事会を、平成27年8月7日(金)日野振興センター中会議室で平成27年度第1回幹事会として再開しました。

平成27年からは幹事を23名から13名と再編し、会員皆様からの御意見などをより反映し、よりよい事業計画実施となるよう、また会員の増を目指して、幹事の役割を企画や運営までに拡充しがります。

今後10月には来年度事業計画、12月には総会にむけての協議する予定にしています。



【第1回幹事会での主な意見】

- 事務局と会員の距離を縮めていく努力をしよう。
- 単独でするのではなく、横のつながりをもって連携した企画もしよう。
- 日野川の将来を担ってくれる子供達の育成が必要。
- 運営も幹事が協力する必要がある。
- まずは本物を見せる活動が必要、それからこうあるべきと考えてもらう学習をすること。
- 冬の企画活動もあってもよい。
- 日野川スマホ写真展を開催する。
- 企画の参加者固定化は悪いことではなく、大事にした上で、時間をかけて新規開拓を行おう。
- 原点に返って再出発し、会を盛大にしよう。

平成27年度は上流域と下流域の交流に力を入れています

目的: 上流域と下流域に住む人々の交流を活性化させ、森林と海の自然を守る。

◎境港水産体験学習

1回目

- ・時期 6月〈上流域→下流域〉
- ・海の恵みの豊かさを実感、海と山のつながりを学ぶ
- ・漁港、水揚等見学、海と山のつながり学習会

◎海岸クリーン作戦及び日野川河口・海岸植物学習会

2回目

- ・時期 8月〈上流域→下流域〉
- ・山の恵みが注がれる河口を学ぶ
- ・河口付近の生物調査、体験、海と山のつながり学習会

◎水源かん養林での森林整備体験交流

3回目

- ・時期 11月〈上流域→下流域〉
- ・山の豊かさを実感、歴史や文化、自然を学ぶ
- ・森林体験、たたら体験・学習会

平成27年度 これからのイベント・行事

時 期	イベント名	内 容	開催場所
10月18日(日)	地域の自然を守る活動ボランティア & わくわく自然体験塾 in 鏡ヶ成	秋の大山山麓で地域の自然を阻害する外来植物の除去作業や自然観察会、地域とのふれあい活動を行います。今年から、大人コース、ジュニアコースに分かれ、大人も子供も楽しく参加できます。	江府町 鏡ヶ成
11月7日(土)	大山古道を歩く	大山寺への多くの参拜者で賑わった大山古道を散策して日野川流域の自然や歴史の学習会、地域とのふれあい活動を行います。	江府町 鏡ヶ成
11月8日(日)	水源かん養林での森林整備体験交流	上流域の人達と下流域の人達が森林の整備などを体験し、自然の大切さを学びます。また、たたら操業やたたら紙芝居など、歴史の学習も行います。	日南町 大宮他

○イベント内容については、変更する場合があります。

○イベントの詳細や参加申し込み方法については、募集の際にご案内します。

日野川の源流と流域を守る会 会員 大募集中!

当会の活動は会員の皆さんに支えられています

「日野川を日本一美しい川」にするため、皆で日野川の源流と流域を守る会の活動に参加しましょう!

お申込み方法や会費などのお問い合わせなどについて、お気軽に下記事務局までご相談ください。Eメールやファクシミリは、いつでも受け付けております。なお、電話によるご相談は、月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時15分まで受け付けております。



写真:日野郡日南町新屋